

2014年9月19日  
日立アロカメディカル株式会社

## ガンマカメラ「HGD-E1500」を発表

日立アロカメディカル株式会社(本社:東京都三鷹市牟礼6-22-1 社長:吉住 実)は、放射線を可視化する新製品ガンマカメラ「HGD-E1500」を発表しました。

私たちが放射線測定装置の自社開発に踏み切ったのは1954年です。それから現在に至るまで、時代をリードする技術の開発に取り組むと共に、お客様視点でニーズに合った製品づくりを追究しています。

ガンマカメラは見えない放射線を可視化する画像化装置です。放射線の強度分布とビデオ映像を重ね合わせることで、放射線量の面的な広がりを確認することが出来ます。簡便な操作で専門の知識の必要なく、誰でも精度の高い撮影が可能です。

従来モデル「HGD-E2000」は、2012年3月に販売以来、福島県内の除染において、リスクコミュニケーションや除染効果の確認を目的とした公的事業に多数使用されています。除染事業の迅速化に期待されている装置です。

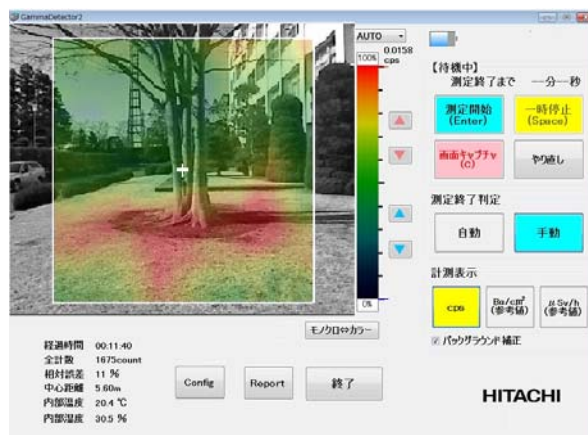
HGD-E1500は、基本性能を落とすことなく機能を限定することで低価格化を実現しました。

製品名	形名	価格(税抜き)	受注開始時期	出荷開始時期
ガンマカメラ	HGD-E1500	¥15,000,000.-	2014年10月1日	2015年1月

\*従来モデル(形名:HGD-E2000)に標準装備されていたエネルギースペクトル表示機能はオプションとなります。



【装置外観】



【撮影画面例】

販売名:ガンマカメラ HGD-E1500

販売元:日立アロカメディカル株式会社

【製品の特長】

1. 高感度な測定

放射線検出素子にはCdTe(テルル化カドミウム)半導体を採用しています。この半導体素子を二次元平面上に、縦横16×16ピクセル、計256ピクセル配列した設計にしました。また遮へい材には高密度で遮へい性能の高いタングステンを採用し、周囲からの影響を大幅に低減させ高感度な撮影を実現しました。

2. 広範囲な撮影

装置から10mの距離で、8m×8mのエリアの放射線量の分布状況をひと目で確認できます。

3. 放射性核種の識別 (オプション機能)

エネルギースペクトルの表示機能により、放射性核種(137Cs等)の識別が可能です。

4. パノラマ測定機能 (オプション機能)

ガンマカメラを設置した位置の放射線量に対し、周囲360度から測定位置へ飛来する放射線量を測定することにより、周囲に偏在するホットスポット等がそれぞれの程度影響を与えているのかを定量的に分析します。本機能を活用すれば、放射線量が思うように下がらない場所における要因分析や、効率の良い除染作業計画を作成するための事前調査などに役立ちます。

■オプション機能の価格

製品名	価格(税抜き)
エネルギースペクトル表示機能	¥3,000,000.-
パノラマ測定ソフト/パノラマ測定用回転台	¥1,650,000.- / ¥700,000.-

【日立アロカメディカル株式会社について】

日立アロカメディカル株式会社は、医用電子装置(超音波診断装置など)および汎用分析装置(放射線測定器など)、医用分析装置(検体前処理装置など)の3事業分野におけるリーディングカンパニーです。

日立グループの一員として、人や社会のさらなる安全、安心に貢献するために、“見えないものを見る/変化を照らす”をカタチにした医療機器、計測機器を世界に発信します。

- ・プレスリリースに関するお問い合わせ先  
企画室 TEL:0422-45-2192(直通)
- ・製品に関するお問い合わせ先  
計測システム営業部 特機営業課 TEL:0422-45-5131(直通)

以上